



STEELCASE Sensor Chair スチールケース センサー チェア

商品概要

- ・センサーのように動きをサポート
- ・ひとへのやさしさを追求したセンサーのかたち
- ・ひとの動きに感応するセンサーのエルゴノミクス

商品紹介

その名の通り、まるでセンサーのようにワーカーの動きに感応して椅子が動き、身体をサポートしながら、快適なすわり心地を提供します。デザインは、ドイツの椅子デザイナー、W・ダイシックが手がけています。

1986年・春。

スチールケース社が発表したオフィスチェアは、それまでのエルゴノミクス・チェア概念をうち破る、まったく新しいものでした。ドイツのデザイナー、ミューラー・ダイシックを中心に、マーケティング部門、エンジニアリング部門などが集結した大掛かりなプロジェクトのもと誕生した「センサー」。座面と背もたれを一体化させた斬新な設計、フレキシブルな動きをサポートするインナーシェル。それらは机上の概念にとらわれず、人間の動きを徹底的に研究した結果でした。”真のエルゴノミクス・チェア”として新時代を拓いたセンサーは、時を経た今も変わらず、オフィスワーカーの賞賛を浴び続けています。

機能と特徴

背もたれと座面の曲面

背もたれ・座面とも、左右の方向に適度な曲面を描き、安定と動きやすさを両立させました。上体の前後左右の動きにも腰椎はしっかりサポート。



ポケット状の凹み

ポケット状の凹みは、座面全体に体重を分散し、座骨にかかる圧力を軽減します。骨盤を前方に回転させ、腰椎を適切な角度に保ちます。



座面と背もたれの角度

座った人の上半身の重量を座面だけでなく、背もたれにも分散させ、脊椎と座骨にかかる圧力を軽減するように、座面と背もたれが適度な角度となっています。



インナーシェル

インナーシェルが持つ柔軟性と適度な抵抗力により複雑な機構を使用することなく、身体の動きをトレースしていきます。



サポート強度調整

座面下のノブを回すことにより背もたれ部の強さが変わります。体重差や仕事の内容、休憩姿勢などに応じ、好みの強さに調整することができます。

